

# 油ゆ 縄な 子こ

平成31年3月20日

## 第110号

発行 油縄子学区コミュニティ  
推進会調査広報部  
会長 白土敏夫  
事務局 油縄子交流センター  
TEL (38) 7531  
<http://www.net1.jway.ne.jp/c-yunago/index.html>

### 賀詞交歓会

平成三十一年の賀詞交歓会は一月十二日(土)穏やかな日和の中、油縄子交流センターで行われ今年も約四十名が出席されました。

昨年同様会場は紅白幕とステージは松の盆栽置物で飾り一段と祝いにふさわしい会場となりました。

油縄子小、多賀中の先生方や社協、及び学区内の人達が六個のテーブルに分かれ開会の言葉、白土推進会会長の挨拶でこれからも油縄子学区の皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げますとの言葉がありました。

乾杯の音頭の時は毎年のごとく誰もが厳粛な気持ちになります。

正月料理を前に歓談に入りますと各テーブルごとに会話は弾みお互いに情報交換を行い会場内は和やかでとても良い雰囲気でした。

恒例の余興に入り、白土由子さんの新年にふさわしい新春の舞の日本舞踊が披露され、その後有志によるカラオケと抽選会が一番盛り上がる時間帯です。

三本締めはいつも笑いの中ですが、手拍子の時はぴりつと締め最後閉会の辞の挨拶で今年も和やかに無事終了しました。

(高橋 功)



熱唱演歌!

### 油縄子コミュニティ推進会・行事予定(4月~6月)

ステップクラブ	毎月第1・第3月曜日	コミュニティ推進会総会	4月14日(日)
はつらつクラブ	毎月第2・第4月曜日	運営委員会総会	4月20日(土)
おもちゃライブラリー	毎週火曜日	油縄子学区連絡委員会	5月17日(金)
油縄子ふれあい茶話会	毎月第2水曜日	空缶・空瓶回収作業	5月26日(日)
国分ふれあい茶話会	毎月第4火曜日	一斉清掃	6月2日(日)

# 年間行事報告

## 油縄子婦人会

平成三十年度の婦人会の主な活動内容を次に報告致します。

### 七月

「わんぱくビレッジ」の夕飯作りでは子供達の喜ぶ食事、そして栄養のバランスを重視し知恵を働かせて献立を考えました。

盆踊り参加、揃いのゆかたで踊る笑顔いっぱい、の会員見事な踊りを披露しました。

### 八月

特別支援学校夏まつりに参加。

### 九月

親睦日帰り旅行を「竜ちゃん」の湯で行いました。会員相互のコミュニケーションを図り楽しい一日を過ごしました。

### 十月

防災訓練・運動会の「とん汁作り」。前日から野菜の下準備さざみと手際よく当日の味つけ、そして出来上がりの味よさは婦人会ならではの自負しています。

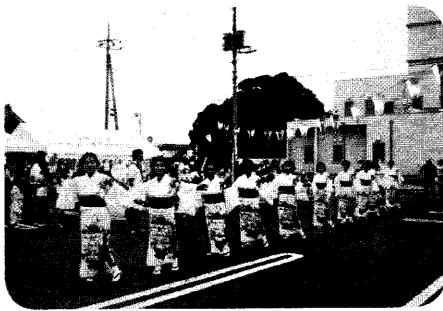
平成三十一年一月  
新年懇親会を「要害クラブ」で行いました。

市報梱包、配布、毎月二回、滞りなく本年度も終了致しました。

(下原国分地区)



わんぱくビレッジ 食欲旺盛の子供達



決めた 浴衣姿

## 「福祉研修及びボランテニア会議」

### ボランテニア会議

二月十五日に福祉部の福祉研修及びボランテニア会議を実施いたしました。

福祉研修は、社会福祉協議会の坂本さんから会のあらましや活動の内容をお話ししていただきました。また、各区の人口の推移などを教えていただきました。

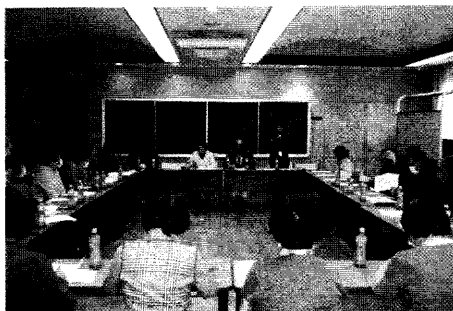
ボランテニア会議は、福祉部の事業報告と来年度の事業計画や、個別事業のはつらつクラブ・茶話会・おもちゃライブラリーについて事業報告・事業計画などを話し合いました。各事業を支えていた



豚汁配給(防災訓練)

だいているボランテニアの皆様のご協力に心から感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。

(風間 康子)



坂本さんの福祉研修



質疑応答

## 中北ブロック研修会

(二月十六日開催)

中小路、助川、会瀬、成沢及び油縄子の五学区を中北ブロックとして、毎年この時期に研修会を実施しています。今年度は、当学区が主催担当となっております。

各地区の青少年育成事業の活動の報告やそれについての意見を出し合い、または参考にしたりと活発な情報交換の場となりました。

当方として他の地区の特徴を知ることができ、大変参考になりました。

やはり共通の問題は高齢化によるボランテニアさん不足ということになります。

また、わずかですが酒席を設け、互いの親睦を深め、一層の意思疎通をはかることができました。

地域での子ども達を見守り、健全にのびのびと育てようとする目的は各学区とも同じです。ともにお互いの良いところを参考として頑張りましょう。

(照井 修)

# J R C 活動を通して

校長 内山 信弘

多賀中学校は昭和四十年に青少年赤十字（J R C）に加盟しました。J R Cは、苦しんでいる人を見たら何とかしてあげたいという、子どもが誰でももっている優しい心を育て、日常生活の中で具体的な活動を通して、一人一人が人道を自分の価値観に高めていくことを目指しています。

## 学校だより ～多賀中学校～

活動を多賀中生代表が発表してきました。その概要を紹介いたします。

### 【チャリティーコンサート】

東日本大震災や熊本地震で被災された方々への御見舞いの思いを込めて、保護者や地域の方を招いてのチャリティーコンサートを実施し

ました。生徒会が中心になり、吹奏楽部の演奏や全校合唱を通して自分たちの気持ちを伝えました。生徒たちからは、「住むところが違っても人として支え合っていきたい」「復興は被災地のことを考え、知ることから始まると思う」などの感想がありました。

### 【常時行われる奉仕活動】

学期ごとの地域清掃活動、月二回の空き缶リサイクル活動や挨拶運動など多賀中生徒全員で取り組んでいます。

### 【特別支援学校との交流会】

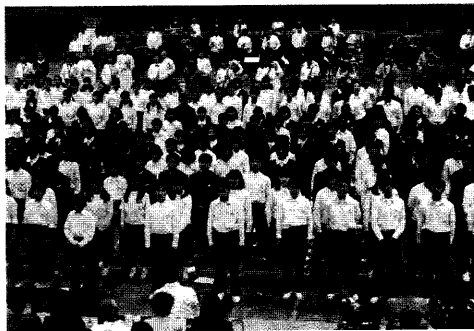
一学年の生徒の企画で日立特別支援学校の生徒との交流の場をもちました。相手を思いやり、お互いに楽しめる工夫が随所に見られ両校の親睦を深めることができました。

### 【除雪奉仕活動】

二年生宿泊学習にて「私たちにできることはないか」と、除雪奉仕活動に取り組みまし

た。雪国の生活の大変さを身をもって知ることができました。

以上の取り組み以外でも、「気づき」「考え」「実行する」というJ R Cの態度目標をしっかりと受け止め多賀中学校の教育活動を行っております。今後とも地域の皆様のお一層のご支援を賜りますようお願いいたします。



チャリティーコンサート



除雪奉仕活動



リサイクル活動

## 油縄子学区連絡委員会

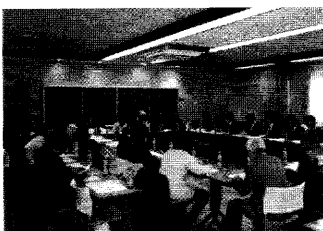
(二月二十二日開催)

ゆなご保育園、諏訪かおる幼稚園、油縄子小学校、多賀中学校、日立特別支援学校、多賀高等学校の先生方及びそのPTAの方々、さらに鮎川交番所長さんに出席頂き、各校の状況や来年度の予定などお話ししました。

鮎川町交番所長飯村さんには、学区内の交通事故や犯罪など前年度と比較を中心にお話を頂きました。死亡事故は今年度一件だけで、他の犯罪はほぼ横ばいとのことでした。今秋は茨城国体もあり各校の運動会は、前倒しに早く実施することでした。

これからも元氣な子供たちのいる街づくりに、協力しましょう。

(風間 康子)



# 随筆

## 漢字あれこれ

鮎川町三丁目 松原 武

去年の世相を表す漢字には災が選ばれました。

大阪北部及び北海道地震、西日本豪雨、台風二十一号など自然災害の多発によるもので、過去では平成十六年にも災があり、如何に災害が多いかを痛感しています。

さて本題になります。漢字には読み替えが色々あります。例えば人も、日本人、人柄、人形、一人、旅人など、じんひと、にん、り、びとの様に変わります。一般に漢字により四、五通りの読み替えは珍しくありません。以前新聞で読んだのは、生の字は読み替えが抜群に多いとの事に、興味がてら考えたものを、次に列挙しますと

- せい……………生産・先生
- しょう……………生涯・一生
- じょう……………養生
- なま……………生意気・生水
- は……………生える
- ふ……………芝生
- ぶ……………羽生善治九段

- き……………生一本・生醤油
- う……………生む・生まれる
- あい……………生憎あいにく
- お……………生い茂る
- い……………生きる
- な……………生る

以上十三通りの読み替えを述べましたが、他の漢字でこれ程多いのは恐らく無いと思います。同時に日本語の奥深さを痛感します。

なお以前から腑に落ちない言葉がありますが、それは秋から冬にかけて花の咲く山茶花(さざんか)です。

山茶を逆に茶山花なら納得できますが、如何でしょう。

ここで訛と聞き違いによる笑話を一つ。

国文学者の池田彌三郎氏夫妻が晩年東北地方へ旅した時一泊して朝の散歩に出ると、番頭さんが「爺さん婆さん、お出掛けー」と声を掛けられ帰って来るとまた「爺さん婆さん、お帰りー」と言われたとの事。池田氏はさすがにムツとして「確かに私達は年は取っているが爺さん婆さんはひどい」と言うと、実は二人の泊まった部屋は十三番室で十三番さんを爺さん婆

さんと聞き間違えた事によるものでした。

最近テレビのクイズ番組で制限時間内に木偏(きへん)の漢字を幾つ書けるかという問題でしたが、私はさんずい偏でやってみました。時間は無制限ですが百四十程の漢字を見出しました。

さんずいだけに水に関する字が多く、しかも熟語が意外に多い事にも驚きました。

例えば清潔、清涼、溪流、沈没、激流、洗濯、渋滞、波浪、海浜等々まだまだあります。こうして考える事は、我々高齢者には脳の活性化にも役立つ健康法だと思えます。

最後に間もなく四月一日に新しい元号が発表されます。

悪夢のような無謀な戦争、無残な敗戦から自覚しい復興を遂げて平和な社会へ移った昭和、平成の御代とも別れ、次はどんな漢字の元号になるか期待して居ります。

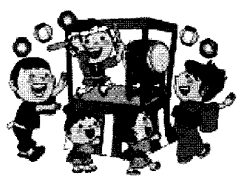
同時に、まだ早いですが今年の世相を表す文字が、冒頭の災い転じて福となる様な、晴れやかな漢字になる事を願っております。

# ポロンティア 急募集

現在、当コミュニティ推進会では、左記の行事があります。手伝つてくれる方々の高齢化もあり、減少してきます。地域の皆様の御力を是非お借りしたく、何卒よろしくお願い致します。

- ① 環境美化
- ② 防災・運動会
- ③ 青少年育成
- ④ 盆踊り

詳細につきましては、事務局照井までお問い合わせ下さい。  
TEL(三八)七五三二



# 編集後記

今年も油縄子学区コミュニティ推進会の賀詞交歓会が盛大に開催され、気持ちも新たにスタートし各専門部の行事を推進しようとしています。改めて交流センター活動の趣旨を考えてみましょう。これらの活動は日立市の方針に基づいて全ての地域住民の為に交流センターが拠点となって活動するもので、各人のボランティア精神と多くの人々の参加により成り立っているものです。しかしながら現状は高齢に伴い健康上の問題等により、ボランティアを辞退する方が多くなりました。この様な現状が継続すると、今後のボランティア活動に支障をきたし、各種行事内容の見直しが必要になります。現在も機会あるごとに交流センター活動への理解と協力を呼びかけていますが、厳しい現況にあります。今、私達は高齢となっても健康を維持し、ボランティア活動や交流センター活動を継続できるよう努力しましょう。

(池ヶ谷)